

「日本を元気にする」成長戦略の一環として、次世代の放送が目指すべき姿を明確化。

## 背景

- (1) 欧米、韓国等において、放送事業者や受信機メーカーは、スーパーハイビジョンやスマートテレビに関する取組みを強力に推進。
- (2) 映像サービス市場は、今後も新規参入が進み、競争の激化が進展。

## 検討事項

- (1) 4K・8K(スーパーハイビジョン)に関する、放送サービスや受信機器の  
実用化・普及に関するロードマップの策定
- (2) スマートテレビ普及の鍵となるサービス、視聴者の安全・安心の確保の  
観点から必要なルールの具体化、推進体制整備の進め方
- (3) ケーブルテレビのプラットフォームに求められる機能とその整備の進め方

## 放送サービスの高度化に関する検討会

上記の分野について、「サービスの具体像」、「実施主体」や「時間軸」について、  
アウトプットを提言。

### 1. 4K・8K(スーパーハイビジョン)

#### (1) 基本的な考え方

- ① 昨今、映画の分野やモバイル、PCに関する映像サービス分野において、現行ハイビジョン(2K)を超える画質の向上が進捗。こうした状況下で、放送分野のサービスや受信機を、4K、8Kに対応させていく必要性については、どのように考えるべきか。
- ② 4K、8Kを放送するための伝送路としては、IPTV、衛星など複数の選択肢が考えられる。具体的にどの伝送路を活用していくべきか。
- ③ 上記の伝送路を活用した放送サービスや受信機の機能については、スマートテレビとの関係を含め、どのように考えていくべきか。

#### (2) 4K、8Kの関係

- ① 上記(1)で検討される伝送路において、4K、8Kの導入は、どのような時間軸とステップで進めるべきか。
- ② 放送サービスの主体に関しては、試行的サービスのための協議会など、団体による提供を想定すべきか、個々の事業者による提供を想定すべきか

### 2. スマートテレビ

#### (1) 基本的な考え方

スマートテレビに関する放送サービスや受信機の機能について、4K・8Kとの関係も含め、どのように考えていくべきか。

#### (2) ルールの具体化

- ① 放送の視聴者の安全・安心を確保する観点から、スマートテレビに関する放送サービスやその受信機、アプリケーションについてはどのようなルールが求められていくべきか。
- ② 上記のルールについて、標準化その他、スマートテレビに関する国際的な動きと整合性を確保するための方策と体制はどのように考えるべきか。

#### (3) ルールの実現、推進体制

- ① 上記(2)のルールの実現方法は、技術と契約、公的な制度などが考えられるが、どのような方法によるべきか。諸外国ではどのような手法でとられているか。
- ② ルールについて、技術と契約による実現を目指す場合、どのような構成と推進体制によって行われるべきか。

### 3. ケーブルテレビのプラットフォーム

- ① ケーブルテレビのプラットフォームとして求められる基本的な機能として、どのような機能が考えられるか。
- ② 当該機能について、ケーブルテレビの視聴者や、事業者の観点から見た場合、それぞれの重要性はどのように考えるべきか。
- ③ ケーブルテレビのプラットフォームの主体となる者には、どのような条件が求められるか。
- ④ プラットフォームのように放送事業自体を行う者ではないが、視聴者との関係で重要な役割を担う事業者については、どのようなルールが求められていくべきか